

第2回しまだ市民遺産で新たに5件認定

◎博物館課 ☎36・7967

市は、これまで地域が大切に守り続け、これからも引き継いでいきたい「わがまちの宝」を、しまだ市民遺産として認定。その第2回認定証の授与式が、3月28日に行われました。

第1回の17件に加え、今回新たに5件を認定。認定された市民遺産は、文化財ではないものの、どれも古い歴史を持ち、各地域で大切にされてきたものです。染谷市長は「この認定を機に、市全体に市民遺産を知ってもらい、わがまちの宝として誇りを持ってほしい」とあいさつしました。

【認定された市民遺産】開拓の鐘、おきさの地蔵尊、おせん女踊り、智満寺の鬼払い、増田五郎右衛門の墓・記念碑



認定証の授与を受けた5団体と審査委員の皆さん

4月1日付け新規採用職員らに辞令を交付

◎人事課 ☎36・7135

4月1日、島田市職員の新規採用と人事異動に伴う辞令交付式が、市役所で行われました。

今年度は、33人の新規採用職員を含む60人に、染谷市長から辞令を交付。新規採用職員を代表して、柿本春奈事務員が「全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行することを誓います」と宣誓しました。



市長から辞令を受ける新規採用職員

第1回しまだ大井川マラソン実行委員会を開催

◎観光課 ☎36・7163

「第11回しまだ大井川マラソンinリパティ」に向けて、運営の事業計画などを検討する第1回実行委員会を、4月12日に開催しました。

同大会は、これまで「全国ランニング100撰」に10年連続で選ばれています。委員会は第11回大会を、10月27日(日)に開催することを承認。今までも以上以上に市民と一体となって「おもてなし」を提供できるような運営を目指します。大会会長の染谷市長は「さらに進化して、ランナーに選ば



議事を進行する岩原実行委員長と染谷市長

れる大会にしていきたい」と決意を新たにしました。

中日本高速道路(株)と高齢者見守り協定を締結

◎長寿介護課 ☎34・3293

3月29日、市と中日本高速道路(株)は、高齢者の見守りネットワークづくりに関する協定を締結しました。同社は、高速道路の工事や点検、周辺側道の管理巡回などの業務を通じて、地域が抱える課題の解決や地域活性化に取り組んでいます。

この協定では、日常業務にあたる社員が、高齢者の異変に気付いた際、市や市内の高齢者あんしんセンターに連絡することなどを盛り込んでいます。染谷市長は「高齢者が、地域で安心して暮らすためにも、見守りネット

ワークの強化が必要。協定は心強い」と、感謝の言葉を述べました。



協定書を手にする上崎裕氏と染谷市長

伊太和里の湯 オープン10周年記念イベント開催

◎観光課 ☎36・7394

田代の郷温泉・伊太和里の湯がオープンから10周年を迎え、4月20日に記念式典を開催しました。

伊太和里の湯には、平成21年のオープン以来、約190万人が来館。多くの人々に、安らぎと癒やしを提供してきました。式典の中で染谷市長は「伊太地区の皆さんに支えられ、無事に10周年を迎えることができた。これからも皆さんに愛される温泉であってほしい」とあいさつしました。

記念イベントでは、抽選会やヤマ

メのつかみ取り、露店市などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



くす玉を割り10周年を祝う関係者

災害救助に必要な物資供給協定を5者が締結

◎危機管理課 ☎36・7320

3月29日、金谷物流センターを運営する(株)タカラ・エムシーと、地元である志戸呂・大代自治会、ガス供給事業者のエネジン(株)が、染谷市長立ち会いのもと、災害時の物資供給について協定を締結しました。

タカラ・エムシーでは、同センター内に災害用ガス発電システムを整備したことにより、非常時に炊き出し設備の提供が可能になりました。同社と地元自治会では既に協定を締結しており、今回はガス提供者であるエネジンを加え、新たに5者で協定

を締結。有事に備え、それぞれの役割を明確にしました。



協定締結に参加した5者

広報紙と公式ホームページが全国広報コンクール入賞

◎広報情報課 ☎36・7118

公益社団法人日本広報協会は、4月25日に平成31年全国広報コンクールの審査結果を発表し、「広報しまだ11月号」が広報紙(市)の部門で3席および読売新聞社賞を、公式ホームページがウェブサイトを(市)の部門で入選を受賞しました。

このコンクールでは、全国の自治体が昨年中に発行した広報紙・掲載写真、公開したウェブサイトや広報映像などを対象に、表現力や企画力・デザイン性などが審査されます。

広報しまだは、8年連続で同コンクールに入賞するとともに、今回は2度目となる読売新聞社賞も受賞しました。同賞は、地域のニュースや人物など、住民目線を活かし取り上

げた作品に送られるものです。

公式ホームページは、昨年中に開設または更新されたウェブサイトが審査対象。コンセプトや広報機能、実用性や操作性などが総合的に評価されての初入賞となりました。

入賞作品は共に、6月7日(金)に福岡県北九州市で開催される「第56回全国広報広聴研究大会」で表彰されます。今後も、市民の皆さんに親しまれ愛される広報紙づくりと、安全で安心な生活に役立つホームページの構築に励んでいきます。



島田市公式ホームページ

広報しまだ11月号

